

福島県立医科大学

平成23年度 第10回

臨床腫瘍セミナー

日時 平成24年2月21日(火) 18:00~19:00

場所 福島県立医科大学11号館(臨床講義棟)第二臨床講義室

演題

低線量被ばくと医療被ばく

講師

福島県立医科大学放射線健康管理学講座

助手 宮崎 真 先生

●講演内容●

2011年3月11日、福島県を大地震、津波が襲い、海沿いの地域に大打撃を与えた。さらに追い打ちをかけるように未曾有の原子力災害が起こり、福島県を大混乱に陥れている。災害以降も、福島県の山々はいつもと同じ自然豊かな美しい景色をみせているが、世界は一変した。低線量の放射能汚染がもたらしたものは一体なんなのか？そこに住む我々はその健康影響についてどう考えればいいのか？今までも、これからも福島に住み続ける一医療者の立場から、事故から約1年が経過した現状を踏まえつつ再考する。

さらに、現代社会においてコントロールされた放射線被ばくは、医療者が患者に対し有効に利用しなければならぬ宿命を背負っている。今回の講演は、特に医療にターゲットを置いて、

- ・医療者は放射線被ばくからどう守られているのか
- ・放射線被ばくから患者をどう守るか
- ・被ばく防護の元となる理論とは(LNTとDDREFを中心に)

の3点に絞ってまとめていきたい。

●講師紹介●

平成6年、福島県立医科大学を卒業。同放射線科に助手として勤務。放射線科専門医(画像診断)。画像診断とIVRを専門としていたが、3月11日の震災以後、緊急被ばく医療に深く関与することとなった。放射線による健康への影響、特に小児に対する影響について考えることに多くを費やしていたが、平成24年1月より放射線健康管理学講座に移籍し(助手)、本格的にこのような活動に従事することとなった。

- がん治療に携わる医師及びコメディカルを対象に公開セミナーとして開催されます
- 本セミナーは「東北がんプロフェッショナル養成プラン」事業の一環となっております
- 本学大学院生は、大学院授業要項で規定する共通必修科目(規定の8)に該当します

お問い合わせ先

福島県立医科大学附属病院

臨床腫瘍センター

がんプロフェッショナル養成支援室

電話 024-547-1410

(内線2661)

メール akiko-a@fmu.ac.jp

次回開催のお知らせ

日時 平成24年3月13日(火) 18時~19時

※第2火曜日です。ご注意ください。

講師 当学器官制御外科学講座

教授 鈴木真一先生

内容 「甲状腺の診断と治療

—甲状腺スクリーニングの意義も含めて」